

2020年12月28日

新潟県知事 花角英世様

立憲民主党新潟県総支部連合会  
代表 西村智奈美

## 大雪による高速道路渋滞の徹底検証と再発防止に係る要望書

去る12月16日18時頃から18日22時15分まで新潟、群馬県境付近の関越自動車道の上下線が大雪により最大2,100台の車が立ち往生しました。本県は災害対策本部を設置し、自衛隊に災害派遣要請を行うとともに支援を行いましたが、立ち往生は最長52時間に及びました。

高速道路に取り残された人たちには情報が無く、復旧までの見通しや渋滞の原因、出口までの距離が分からず不安を余儀なくされました。食料やガソリンなどの救援物資を受け取れない人たちや体調不良となった方もおられ、命に関わる事態にもなりかねず想定外では済まされません。

また、立ち往生発生から解消まで終始情報が不足し、更に公表して報道された滞留車両数の情報を撤回するなど情報が錯綜し、混乱を極めました。

今後このような事態が発生しないよう、徹底検証と再発防止を求め要望します。

1. 東日本高速道路（NEXCO東日本）に対して、今般の大雪による関越自動車道の渋滞について、渋滞の発生と解消まで長時間に及んだ要因、組織内の対応、関係機関との連携など詳細かつ徹底的な検証を求めること。
2. NEXCO東日本の検証を踏まえ、県としての検証を行い、国等の関係機関と連携して情報を共有し、再発防止策を講じること。
3. 高速道路を含めた道路の雪害対策について、関係機関の連携と体制の強化を図り、大雪により長時間に及ぶ大渋滞や車両・人員の孤立が発生しないよう万全を期すこと。

以上